

令和元年度 項目別の自己評価表 [仙台保健福祉専門学校]

1. 学校の教育目標

仙台保健福祉専門学校は、学校教育法に基づき、医療及び教育・社会福祉の分野における職業と、実際の生活に必要な専門的知識・技術・技能等の能力と教養を持ち、社会に貢献できる人材育成を目的とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 「専門教育」と「人間教育」の充実

- ① 国家資格取得および各種検定試験合格率の向上。
- ② 豊かな人間性と教養を身につけた、コミュニケーション能力を持つ社会人の育成。
- ③ 学生生活や実習等を通して、専門職の理解と多職種連携の意義を学ぶ。

(2) 学生募集活動の強化と学費納入等に関するきめ細かな対応

- ① 学生募集ではこども科への募集強化対策を行う。
- ② 奨学金を利用する学生が増加傾向にある中で、学費納入状況を把握しながら保護者への早めの対応を行う。学費等納入計画については、経済的理由で学修を途中断念することのないよう、随時クラス担任とも連携を取りながら対策に努める。
- ③ 日本学生支援機構奨学金の返還延滞率については全国平均よりも本校は少ないが、継続して返還についても指導を行う。

平成 29 年 3 月末 本校の延滞率 5.8% (専修学校全国平均 8.7%)

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

() 内の数字は平成 30 年度評価

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野における職業教育の特色は何か)	4
学校における職業教育の特色は何か	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念、目的、人材育成像、特色、将来構想などが学生保護者等に周知されているか	4
各科の教育目標、人材育成像は、科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

本校は、医療専門課程の「理学療法科」「作業療法科」「歯科衛生科」、教育・社会福祉専門課程「介護福祉科」「こども科」の5科を設置していたが、「介護福祉科」は昨年より募集停止にしており、令和2年度からは4学科となる。学生にはこれまで以上に専門職の意識を高く持たせられるよう教育の質の向上を目指すとともに、指導者は人材育成に対する責任感と使命感を持ちながら教育に携わることが必要であり、養成校である本校において結果として国家試験合格率の向上と社会貢献に繋がると考えている。

しかしながら志半ばで退学する学生もおり、保護者と連携を取りながら学びの継続に繋げたい。

②今後の改善方策

職業実践専門課程として学外実習（事業所）で専門性を学び、自分の将来の姿を実現する気持ちを持たせることが大事である。そのため、実習指導者と教員が連絡を更に密にして実習を支援することで、学生の成長を促す。また学生へのアンケート実施結果から見えるクラス運営の状況をクラス担任は把握し、孤立している学生への支援を行うことで退学抑止に繋げる。

② 特記事項

オープンキャンパスや入学後のオリエンテーション・保護者会等で、教育目標や育成人材像等を説明している。特に、国家試験に合格するための日々の学習に加え、「人と接する専門職」に就くためのコミュニケーション能力育成など、志の高い職業人輩出を目指して努力している。

(2) 学校運営

() 内の数字は平成 30 年度評価

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務、財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に対する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

ホームページでは情報公開を行い、随時更新している。各業界や企業との連携は継続しているが、学校を取り巻く地域社会に対する貢献が少ない。

② 今後の改善方策

わかりやすく、興味を引くホームページの作成ならびに情報公開を目指す。広報担当者に協力をいただきながら、地域を意識した情報発信にも力を入れる。

③ 特記事項

グループウェアを使用し、起案や各種申請においては電子決済が行われているので、かなりのスピード化が図られている。

(3) 教育活動

()内の数字は平成30年度評価

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか	4
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業関連施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる用件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修が行われているか	4

① 課題

理学療法科・作業療法科はリハビリテーション教育評価機構の認定を受けており、令和2年度施行の養成所指定規則の改正に合わせ、カリキュラムの見直し、体系的編成を行っている。また職務専念免除日を利用して各教員の自己研鑽を積んでいる。こども科では、実務経験者が少なく、業界との連携をとるという視点からはさらに優れた教員の確保が必要である。また教員の研修体制は、指定養成校として最低限必要とされているものに対して参加している。

授業評価については学校策定のものがなく、各教員が個別に実施しているのが現状である。

② 今後の改善方策

教員の指導力向上を目指し、各分野における研修会に参加できる体制を作る。

また授業評価についても学校独自のものを策定し、各科共通認識を持つ。

③ 特記事項

特になし

(4) 学習成果

()内の数字は平成30年度評価

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

令和元年度の国家試験合格率は、理学療法科 100%、作業療法科 94.1%、歯科衛生科 100%、介護福祉科 100%であった。介護福祉科を除く各科において、安定的な高い合格率を達成するための指導法の定着を目指す。就職率も 100%であり、各業界へ貴重な人材を送り出すことができた。

卒業生の教育への参加は、キャリア形成に結びつく卒業後教育や評価の体制は整備されていない。

② 今後の改善方策

実習先（事業所）や就職先との連携が取れるよう関係性を深め情報を共有することで、指導の振り返りや改善に反映させる。

③ 特記事項

特になし

(5) 学生支援

()内の数字は平成30年度評価

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
進路就職に関する支援体制は整備させているか	4
学生相談に関する体制は整備させているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

学生の生活環境が良好なため、学生寮の設備や環境に対して保護者や、学生から苦情があった。保護者会やオリエンテーションで意見を伺っている。また、寮生においては慣れない環境での自炊生活になるので、体調および入学後の不安などの聞き取りを看護師の教員がおこなっている。

卒業生への支援体制の基盤として、本校の同窓会組織の必要性を感じている。

② 今後の改善方策

寮の環境整備として、カーテンの交換、エアコンのクリーニングなどを行った。次年度も長期休業期間を利用して順次行っていく。

本校独自の同窓会組織についてはマンパワーの不足から、立ち上げが現実のものとなっていない。

しかしながら同窓会組織を利用して卒業教育や、学生募集などに広げることが可能なので、継続的な視野で取り組んでいきたい。

③ 特記事項

学生食堂「ローズ」のメニュー・価格の見直しを行ったところ、学生に好評で利用者が増加した。

(6) 教育環境

() 内の数字は平成 30 年度評価

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災に対する体制は整備されているか	3

① 課題

経年劣化の伴う施設・設備の修理が必要となっており、可能な範囲で随時対応している。

防災訓練や備蓄は例年どおり実施しているので、問題ないとする。また今年度は防災設備の取り扱いについて、設備会社の協力を得て防火扉やオリローの体験、校舎内の消火設備の説明などを聞くことが出来た。

② 今後の改善方策

大地震や火災だけでなく、台風 19 号などの豪雨に対する避難計画・危機管理も見直しが必要である。さらにオープンキャンパス開催時の防災体制を整備していく必要がある。

経年劣化に伴う修繕・交換の必要なものについては予算化して取り組み、教育に支障が出ないように、また安全に安心して学生生活を送れるようにする。

③ 特記事項

特になし

(7) 学生募集

() 内の数字は平成 30 年度評価

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
学生募集活動は、適性に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	3

① 課題

高校からのガイダンス参加依頼や、職業教育の一環としての高校への講師派遣など、積極的に受諾することが必要であり、こども科は独自の DM 発送や A0 入試の回数を増加するなどした。

② 今後の改善方策

引き続き、施設等との産学連携も視野に学生募集につなげる。

③ 特記事項

特になし

(8) 財務

() 内の数字は平成 30 年度評価

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適当に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

現時点において財務的に大きな問題はないが、経年劣化による建物内の改修が必要と思われる部分もあり、ある程度の改修費用が必要となる。

② 今後の改善方策

国家試験合格率の向上、広報活動の社会人等への拡大などを通じて、入学生の増加を図ることが財務基盤の安定化に必要と考えている。

③ 特記事項

特になし

(9) 法令等の遵守

() 内の数字は平成 30 年度評価

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

本校の教育は厚労省の養成課程であり、法令・設置基準等の遵守や適正な運営を行っている。

一方、自己評価については、実施後の振り返りや課題改善への取組を充実させるとともに、公表を行う上での組織体制も未整備であり、課題となっている。

こども科は指定養成施設の運営基準である教科担当専任教員が 1 名不足している状況だが、改善に向けて取り組んでいるところである。

② 今後の改善方策

学校関係者評価委員会の評価をもとに、改善に取り組むとともに積極的な公表を行う。

将来的には第三者評価を視野に検討する。

③ 特記事項

特になし

(10) 社会貢献・地域貢献

() 内の数字は平成30年度評価

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

介護福祉科・こども科では定期的に学生のボランティア活動を行った。しかし今後は介護福祉科の学生ボランティア活動がなくなるので、他科学生の参加を更に促したい。

② 今後の改善方策

ボランティア要請情報を公開するとともに、学生の活動への相談等を行う。

③ 特記事項

理学療法科学生有志は東北・みやぎ復興マラソンのボランティアは日程上協力できなかったが（台風19号により大会が中止）、フライングディスク競技会等にボランティア協力するなどした。

介護福祉科は毎年「車いすダンスフェスティバル」へボランティアとして学生を派遣しており、その功労を認められ、宮城県車いすダンス協会より感謝状の贈呈を受けた。

こども科は保育士不足という社会の状況を踏まえ、公共職業訓練の保育士養成課程受託も前向きに検討している。

4. 自己評価結果とご意見に対する対応

(1) 教育理念・目標

評価項目の達成度は昨年同様の結果となった。全ての学科が職業実践専門課程として認可されているので、常に教育目標や育成人材等を意識した教育が行われている。

(2) 学校運営

地域社会貢献が科によって差が出てしまう。学校全体として各企業や業界と連携を取りながら、更に地域との交流を深めたい。また電子決済が学内で充実したのでスピード化が図られている。

(3) 教育活動

理学療法科・作業療法科はカリキュラムの見直しを行い、令和2年度から新カリキュラムが開始した。教員の充足も必要であり、実務経験を重ねた人材が必要である。授業評価については早急に策定を進めたい。

(4) 学習成果

理学療法科の国家試験合格率が開校以来初の100%を達成できた。就職率も全ての科が100%を達成している。これからはこの結果の数字を継続させることを目標とする。

(5) 学生支援

評価項目の卒業生への支援体制と社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備という点が劣った。昨年同様、マンパワーの不足から同窓会の立ち上げができていない。卒業生が現場で経験を積み、教員として戻ってきて同窓会を立ち上げるという流れを期待したい。

学生生活環境の支援として寮の設備の劣化が挙げられた。評価委員の先生から、今の学生たちの環境が良いので、自宅での自由な生活と寮生活での「ギャップ」を殊更感じ、その「ギャップ」が就職先でも先輩とのやり取りの中で散見されるとの意見があった。

また学生食堂ではメニューや価格の見直しがあり、学生に大変好評である。

(6) 教育環境

オープンキャンパス開催時の防災体制を早急に整備する。また経年劣化に伴う修繕には予算化して取り組み、安全に安心して学生生活を送れるよう教職員が取り組む。

(7) 学生募集

引き続き、ガイダンスの参加やDM 発送なので学生募集に繋げる。

(8) 財務

学園のHP 上で公開している。特に意見等なし。

(9) 法令遵守

こども科が教科担当者1名不足しているので引き続き改善に努める。

将来的には第三者評価を取り入れる。

(10) 社会貢献・地域貢献

介護福祉科が毎年「車いすダンスフェスティバル」へボランティアを派遣しているので、その功労を認められ感謝状をいただいた。他科の学生のボランティア活動を更に促したい。

総括：多岐にわたりいろいろとご意見をいただいた。現在は新型コロナウイルス感染症対策の中での学生教育となっている。合格率を維持できるよう引き続き指導を行っていく。